



【展示物名】 土星の模型（2階）

【該当する学年】 小3 小4 小5 小6 中1 中2 中3

【学習指導要領】 エネルギー 粒子 生命 地球

<小学校4年>

(4) 月と星

月や星を観察し、月の位置と星の明るさや色及び位置を調べ、月や星の特徴や動きについての考えをもつことができるようにする。

<小学校6年>

(5) 月と太陽

月と太陽を観察し、月の位置や形と太陽の位置を調べ、月の形の見え方や表面の様子についての考えをもつことができるようにする。

<中学校3年>

(6) 地球と宇宙

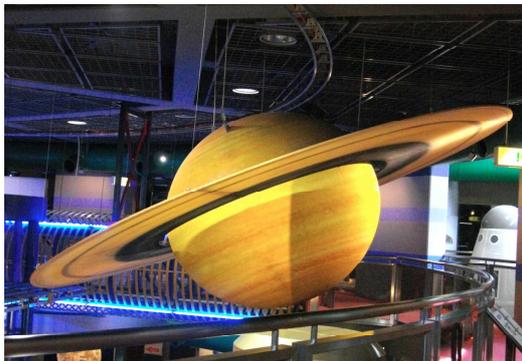
身近な天体の観察を通して、地球の運動について考察させるとともに、太陽や惑星の特徴及び月の運動と見え方を理解させ、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深める。

イ 太陽系と恒星

(ウ) 惑星と恒星

観測資料などを基に、惑星と恒星などの特徴を理解するとともに、惑星の見え方を太陽系の構造と関連付けてとらえること。

【写真】



【2階 展示室にある土星の模型】



【プラネットシアター】

【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

★ 太陽系6番目の惑星を展示している。夜空には多くの星があるが、輪を持つ土星は、スターウォッチング教室等でも非常に人気のある天体である。プラネタリウムドーム（外径30m）を太陽の大きさとした場合と比較して、展示してある土星の大きさも決められている。（直径約3m）

★ **小学校4年「月と星」、小学校6年「月と太陽」**で学習する星空の観察において、夜空に輝く無数の星に対する豊かな心情と天体に対する興味・関心を高めることにつながる。

★ **中学校3年「地球と宇宙」**で取り上げる惑星の特徴である「大きさ」「密度」「大気組成」「表面温度」「衛星の存在」などを紹介しており、「土星」の展示解説に明記されている内容を基にして、他の惑星への関心を高めることができる。なお、プラネットシアターに誘導することで、惑星は大きさによって、地球を代表とするグループと木星を代表とするグループに分けられることを見だし、大気組成や表面温度を比較することによって**地球には現存生物生命を支える条件が備わっていること**にも気付くことができる。